大田高校学校だより

泰山木

Taisanboku

第126号

令和７年３月１日

島根県立大田高等学校

絵：宇田川沙紀（美術教員）

『泰山木』について

校長　阿部志朗

第百二十六号『泰山木』の発行にあたり、その歴史を『大田高校百周年記念史誌』からひも解いてみました。

本校では平成十一年度まで年二回の「学校だより」が発行されていました。平成十二年度にそれがＰＴＡ広報誌として引き継がれることになり、『泰山木』と名付けられた第一号は「学校だより」から数えて通算第五八号として発行されることになったとのことです。誌名の『泰山木』の由来については、その第五八号に「広報誌『泰山木』の発行に寄せて」として、つぎのように書かれています。

：（前略）：泰山木は、大正十年、県立大田中学校校舎竣工の日に、大田町の尾添利三郎さんから寄進されて以来、大田高校の生徒たちをずっと見守ってきました。昭和四十九年十二月二十五日、校舎のうち八六六平方メートルを焼失する火災がありましたが、火災現場の泰山木は半ば焼けながらも不死鳥のごとく残りました。大田高校のシンボルであり、多くの卒業生の思い出の木である泰山木を、ＰＴＡ広報誌の名とし、これから新しいページを刻んでいきたいと思います。

今も岩谷奨学記念館の南側に泰然と立ち生徒を見守る泰山木の名に込められた発行当時の思いを引継ぎ、今年度、学校だよりとして再スタートします。変わらないのは、保護者、教職員の大高生に向けた熱い思いと、日々研鑽し、成果を残し、未来を切り拓いていこうとする大高生の姿。その一端が伝わることを切に願い、巻頭のご挨拶といたします。

令和六年度ＰＴＡ活動について

ＰＴＡ会長　恒松　勝

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。晴れて今日の日を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃よりＰＴＡの活動にご理解、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

まずは嬉しいご報告をさせて頂きます。二〇二四年八月二十三日（金）に開催された第七十三回全国高等学校ＰＴＡ連合会茨城大会において、一般社団法人全国高等学校ＰＴＡ連合会の田名部智之会長より、表彰状を頂きました。これまでの大田高校ＰＴＡ活動が評価されたものと大変嬉しく思います。大田高校ＰＴＡ活動にご尽力された方々にあらためて敬意を表すとともに心より感謝申し上げます。

さて、近年、ＰＴＡの在り方、組織運営の方法等が各地で議論されています。我々大田高校ＰＴＡでも、まず生徒のことを第一に考えることはもちろんのこと、保護者と先生がいきいきと協和することで、より良い組織に変化していくことが大切だと思います。早急な変化は想定外の問題を引き起こす可能性があります。まずは会員一人ひとりがしっかりと考え、意見を出し合い議論していくことが大切です。保護者の皆様、先生をはじめとされます学校関係者の皆様一年間、ありがとうございました。

卒業生へ贈る言葉
保護者より

「ありがとう」の気持ち

佐和裕美

卒業おめでとう。四月からの新しい生活に向けて心豊かに過ごしているでしょう。高校三年間を大田高校で過ごし、色々な思い出が出来ましたか？

勉強、大変だったね。でもよく乗り越えました。部活、続けていてよかったね。人任せにせず自分に責任を持って頑張りました。その努力を見ていてくれた人たちがいて力をかしてくれました。そして、人生に彩りを添えてくれました。

大学共通テスト当日の早朝、まだ薄暗い時刻に、学校には沢山の明かりがつけられていました。教室、体育館、岩谷会館…　先生方もあたたかく送り出して下さいました。不安の中、試験会場に向かう子供たち、頑張れ！大丈夫!!と祈る親御さん、校舎につく明かりを見ていると涙が出てきました。こんな光景を見せてくれた子供に感謝し、思わず写真を撮りました。

四月からそれぞれが選んだ道が始まりますね。色んな事にチャレンジして下さい。どんな事もチャレンジできることに感謝の気持ちを忘れずに日々を過ごして下さい。ずっと応援しています。

そして、「ありがとう」。可能性を秘めた大人びた表情を見せてくれて、幸せです。

新たなステージ ～未来へ向けて～

月森智和

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。高校生活、授業に部活に私生活にあっという間の三年間ではなかったでしょうか。私自身も大田高校を卒業し、三人の子供が全員母校に通うことで学校に関わり訪れる機会が増え、そのたびに懐かしさを感じています。

さて、これから進学や就職の方へと色々な道へ飛び出される皆様に、私から「気づき」という言葉を贈りたいと思います。気づきとは、簡単に言うとそれまで見落としていたことや問題点、新しい発見などに気づくことです。気づきを得ると、視野が広がったり、前向きな行動力が高まったりする効果があると言われています。社会に出てからの私の経験上、仕事などで結果が出るだけでなく、人生も楽しくなると思います。当たり前のようで難しい行動だと思いますが、他人に対する自分の行動を今一度振り返り、ちょっとした「気づき」を実践してみてください。きっと自身の成長を促してくれるはずです。

これから、新たなステージへ向かう皆様のご活躍を心から祈っております。そして、大田高校の後輩たちにご自身の経験をぜひ語っていただければと思います。本当に三年間お疲れ様でした。ご卒業おめでとう。

選んだ道を正解に

石橋早苗

桜の木の下で撮った入学式の写真には、まだあどけなさが残るみんなの笑顔がありました。あれから三年、大田高校での生活はどうでしたか？良い仲間や先生との出会い、勉強と部活動の両立、様々な行事での体験などを通して、心身ともに大きく成長されたと思います。親として、子どもの成長を近くで見守れたことは、この上ない喜びです。

人生は選択の連続だと聞いたことがあるかもしれません。思えば人は、日常の細かいことから人生を左右する大きなことまで、日々何かを選択して生きています。皆さんは今、人生の岐路に立ち、大きな選択をしたところですね。これからきっとたくさんの楽しい出来事やすばらしい出会いが待っています。でもいろいろあるのが人生で、試練や挫折も経験することでしょう。そんなとき、あの頃に戻って選択し直したいと思うことがあるかもしれません。でも、選んだ道を正解とし、ゆっくりでも構わないので、一歩ずつ進んでいってほしいと願っています。

皆さんの行く先が、明るく豊かでありますように、いつまでも、ふるさとから皆さんの背中を見守っています。卒業おめでとう。

「今」この時を大切に

大迫学

卒業おめでとう。大高で過ごした高校生活はいかがでしたか？勉強に部活、学園祭など各々が真剣に取り組んできたと思います。その頑張る姿を日々見守ってこられたこと、成長し、新たな道へと歩み始めたことを親として嬉しく思います。

新たな道を歩み始める皆さんに次の言葉を贈ります。

「ある者は明日に、他の者は来月に、さらに他の者は十年先に希望をかけている。誰一人として今日を生きようとする者がいない。」

学園祭が熱く盛り上がったのは、それまでの準備を一人一人が頑張ったから。進路を決定できたのは日々の勉強を積み重ねたから。こうありたいと思い願うだけでなく、そのための努力を積み重ねたからこそ結果があるのでしょう。皆さんの目の前にあるのは「未来」でも「過去」でもなく「今」だけです。「今」の積み重ねが未来の自分へと繋がっていきます。だからこそ「今」をどれだけ大切にしているかを自分に問いかけながら、一日一日を過ごして貰えたら嬉しいですね。皆さんのこれからの人生が輝かしいものとなることを心から願っています。

卒業生へ贈る言葉
クラス担任より

挫折のススメ・失恋のススメ

三年一組　担任　白築　涼子

君はこれまで無事に物事が進み、思いが叶い、順調に成長して行けたら…と望んできたでしょう。しかし私はあえて「挫折」を勧めたいと思います。挫折は君を強くし、君の望みや心について考えさせ、君の弱さを思い知らせ、周囲の人が君をどう支えているかにも気づかせます。何かを強く願い、努力するからこそ挫折があります。この一年のどこかでそれを経験した君は少し大人になったのだと思います。「人生詰んだ」「死んだ」そういう言葉を時に聞きますが、挫折しても人生は詰みません。君は死んだりしません。日常は続き、世界は君を包みます。ただちょっと今はそういう時期だなと、君自身を俯瞰し、丁寧に、具体的に君にできる何かを見つけて続けてください。

そして若いころ（できれば十代に）きつい失恋をすることを勧めます。失恋すると、しんどい気持ちにたくさんなるけれども、大好きな人に愛されることがいかに奇跡かを深く知ります。世界がどんなに美しい色にあふれているかにも気づきます。君の大切な人をより大事にできると思うのです。夢を追いかけ続け挫折することを恐れないで。愛することを諦めないで。私はずっと君を応援しています。

未来に想いを馳せる

三年二組　担任　宮内　直美

先日、学級日誌を読んでいて、心が温まる文章に出会いました。

「この世界はとても広く、どんな景色が広がり、どんな人や動物がいるのかと想像すると僕はまだ何も知らないんだなと思います。大学に入ったら、新しいことをどんどん学びたいです。今この瞬間も世界中でいろいろなことを頑張っている人がいると思うので、その人たちと一緒に勉強をしていきたいです。」

これから自分の前に広がる新しい世界への期待、世界中の人と共に学びたいという想い。自分が描く未来への真っすぐな気持ちが伝わり、心を打たれました。そして、私も同じような気持ちで、未来に思いを馳せ、高校時代を過ごしていたことを思い出しました。あの時の想いはきっと今の自分につながっているのだと感じます。これからも様々なことを学び続け、生徒のみなさんの助けになりたいと思い日々を過ごしています。

旅立ちを迎えたみなさんは今、どんな想いを抱いているのでしょうか。今抱いている未来への純粋な想いをずっと大切にし、自分らしく、たくましく人生を歩んでいってください。夢中になれることを見つけて努力を続け、積み重ねた力で周りの人を幸せにできるような人になってくれたらと願っています。ご卒業おめでとうございます。

祝・卒業

三年三組　担任　清水　真人

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

「ありがとう」という感謝の言葉は幸せを生むと言われています。今、三年間の課程を終えて卒業式を迎えられたのも、友人や先生方、そして何よりもご家族の支えのおかげだと思います。この三年間を支えてくれた人達に、ぜひ言葉に出して感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。卒業式とは、そういうことのできる日だと思います。

さて、皆さんが入学したときに大田高校で目にした桜はとても華やかでしたが、当然、一年中満開に咲き誇っているわけではありません。皆さんも大田高校での三年間、楽しいことばかりではなく、多くの努力や苦労をしたと思いますが、その分しっかりと根を張り、太い幹になって、今、華やかな桜の花を咲かそうとしているように見えます。華やかな花を咲かせた桜は、やがて次に向けて新しいスタートを切ることとなります。そして必ずやまた美しい花を咲かせてくれます。次は今以上に根を張り幹を太くして、より華やかに。

まわりの方々への感謝の心を忘れずに、ますます活躍されていくことを楽しみにしています。

学び続ける力

三年四組　担任　勝部　智史

みなさんには「師匠」がいますか？師匠は常に自分の先行く存在であり、自分のやっている努力に自信が持てなくなりそうなときには、「間違っていないぞ」と背中を押してくれる存在でもあります。

どこで何をしていても、不思議と周りの人に可愛がられて、才能を開花させていくことができる人がいますが、教わり上手の人は、まず「自分は学び足りない」という無知の自覚をしています。だからこそ、師匠を見つける能力が選択的に開花します。そして、師匠を見つけることができたら、「私に教えてください」と言えること。心と身体で思いを尽くして、それを相手に伝えることができる人が、「師匠に導かれて、今の自分がある」という、学びの形を発動できるのだと思います。

大田高校の三年間で学んだことは授業の内容はもちろんのこと、もう半分は「学び方」です。その時々によって誰を自分の師と定めてもいいのですが、誰を相手にしてもこの学びの形を外しては人から学ぶということはできません。技術、知識、愛情、友情・・・、大切な物事は人から人に伝わっていくものです。

この学び舎を離れ、これから社会に羽ばたいていっても謙虚に学び続けてください。

君たちの前途を祝します。さあ、これからだ!!

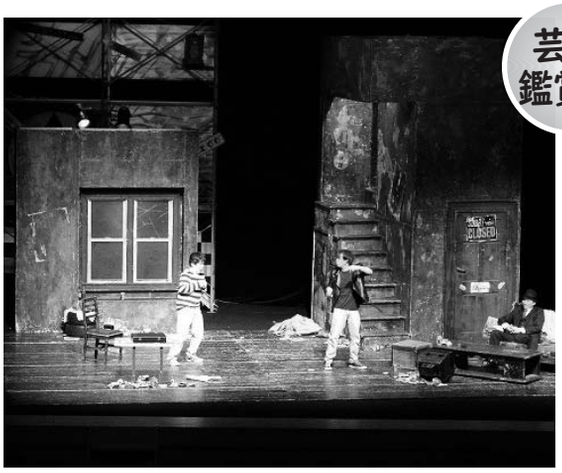
遠足

学校行事　フォトアルバム

県総体
壮行式

オープン
ハイスクール

芸術
鑑賞会



球技
大会

２年
研修旅行

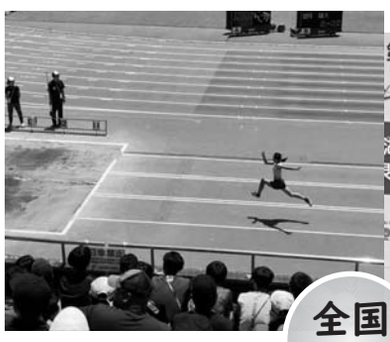
１年理数科 サイエンスセミナー

校内ロードレース大会

２年理数科課題研究発表会(２月)

２年普通科探究学習成果発表会(２月)

センバツ21世紀枠
中国地区代表候補校



全国
大会

三年間の思い出
卒業生より

一組　**大野佑夏**

私が高校に入学した頃は、中学校とは違う大人数での学校生活や、親元を離れた寮生活への不安でいっぱいでした。しかし、様々な行事を通して色々な人と関わることができ、心通じ合える友人もできました。

私は、二年生の時に生徒会長を経験させていただきました。全校生徒の前であいさつをするのは私にとって勇気のいる緊張の瞬間でしたが、回数を重ねるうちに慣れていくことができ、大きな成長になったと感じています。様々な行事の企画、運営も大変でしたが、生徒会のメンバーと楽しく協力して乗り越えることができました。

また、寮生活も貴重な経験でした。相手を思いやる気持ちや、自立する力は、寮生活を経験したからこそ身についたと思います。

今振り返ると、この三年間はあっという間で充実した日々のくり返しでした。大高でのたくさんの思い出を忘れずにこれからも頑張っていきたいです。三年間ありがとうございました。

一組　**恒松結愛**

三年間の高校生活はあっという間のように感じています。私たちが入学した頃は、まだコロナ禍による制限があり、充実した高校生活を送ることができるか不安に感じていました。とくに中学校の修学旅行は制限がかけられ、想像していたものとは違った形になってしまったため、高校の研修旅行も制限がかけられたらどうしようと心配でした。しかし、無事に関西へ行くことができ三年間の中でもとくに思い出に残っています。

部活動は入学当初入部しようか迷っていましたが、先輩に声をかけていただき入部することに決めました。知らない人ばかりで、一番端で仲の良い友達とずっと練習していた時期もありました。しかし今になって思うことは、入部して本当に良かったということです。部活をしていた頃は練習が大変だと思う日が多かったですが、引退をして受験勉強が始まると、もう一回部活したいなと強く感じるようになりました。そのくらい部活が楽しかったです。

振り返ってみると、三年間はとても充実していて楽しい日々を過ごしていたなと思います。多くの人と関わることができ、多くの経験をすることができました。大学でも頑張ります。三年間ありがとうございました。

三組　**石橋良介**

高校三年間はあっという間に過ぎました。クラスでの何気ない会話や二年生で行った研修旅行、三年生最後の学園祭は特に楽しい思い出として残っています。

思い返すと大田高校での三年間は僕を成長させてくれた時間だったと思います。大田高校に入学した理由は、文武両道を実践できる環境がそろっていると思ったからです。実際に入学してみると勉強は大変で、日々の生活では部活動が優先になっていたと思います。ですが、その分、テスト期間中は部活動に費やしていた時間や集中力を勉強に向けて取り組みました。僕は、勉強と部活動の両方を頑張れるということが大田高校の良さだと思います。

僕は野球部でしたが、楽しいことだけではなく、苦しいことの方が多かったです。それは本気でやっていたから苦しいと感じたのだと思います。ですが、その苦しい練習を頑張れたのは野球部のみんなと甲子園に出たいという目標があったからです。その目標は叶いませんでしたが、本気で野球と向き合ったことは僕にとって貴重な経験になりました。

四月からは新たな場所で新たな夢に向かうことになります。そこでさらに成長できるように頑張ります。

四組　**水瀧仁汰**

私は、小・中学校と大田で野球をしてきたので、高校も地元の大田高校に入って甲子園に行くんだという強い気持ちと、勉強についていけるのかという不安を抱いて入学式を迎えました。

部活動では、仲間と切磋琢磨し、目標に向かって日々練習に励みました。結果的には甲子園に行くことが出来ず、一生悔やんでも悔やみきれません。しかし、楽しい時も苦しい時も共に過ごした最高の仲間との時間は、私にとって「甲子園」以上の大切な宝物です。

学校生活は、他愛もない友達との会話や日常が充実していましたし、様々な学校行事がありました。一年次の遠足で、フォーゲルパークの鷲のショーを見て、なぜか大爆笑したこと。二年次の研修旅行で、朝五時に起きて皆で屋上の露天風呂に入ったこと。三年次の大高祭で総合優勝したこと。楽しかったことばかりが思い出されます。

思い返すと、あっという間の三年間でした。苦しい勉強や部活、様々なことへの挑戦は高校時代にしか経験できないことでした。大田高校で学んだことを活かし、次のステージを歩んでいきます。三年間ありがとうございました。

【学校評価アンケートの結果について】

令和６年度学校評価アンケートの実施に際しましては、生徒の皆さんおよび保護者の皆様にご協力いただき、大変ありがとうございました。今年度のアンケートの結果につきまして概要をお知らせいたします。

本アンケートのねらいは、今年度における本校の教育活動全般について、生徒・保護者・教職員がさまざまな項目で評価し、次年度の目標を設定し、より充実した教育活動を計画・実施していくことにあります。今後はこのアンケートの結果をふまえて、各分掌・学年会等で反省と改善策を検討し、学校運営協議会を経てまとめていきます。その内容につきましては、後日学校ホームページ上にて公表いたしますのでご覧になってください。

保護者による学校評価アンケート（全学年：174名回答）
４：とてもそう思う　３：だいたいそう思う　２：あまりそう思わない
１：全くそう思わない　０：わからない

	評　価　項　目	平均
1	本校のグランドデザインがどのようなものかを知っていますか。	2.9
2	本校は、地域に係る活動（探究学習など）を通じて、お子様の地域への理解や愛着を深めていますか。	2.8
3	本校は、ＩＴ講演会等を通じて、生徒の、ＩＴへの理解や興味を深めていますか。	2.7
4	本校は、協調学習（ジグソー法やペアワーク、グループワークなど）を通じて、お子様に深い学びを提供していますか。	2.8
5	本校は、教室内にあるICT機器（プロジェクター、タブレットなど）が活用されていますか。	3.1
6	本校は、生徒自身の「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちに応えていますか。	3.1
7	宿題や課題等に取り組むことは、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	3.2
8	本校は、いじめ防止基本方針に基づいた適切な取り組みや対応が実施されていますか。	2.9
9	服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	3.1
10	本校の部活動において、現在の活動内容に満足していますか。	2.9
11	本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	2.7
12	保護者向け進路説明会等を通じて、進路に関する情報は得られましたか。	3.1
13	キャリア教育（進路学習）を通して、お子様が自分の将来について考えるようになりましたか。	3.0
14	各種の補習（土曜日・平日・夏期・冬期）は、お子様にとって有意義なものになっていますか。	3.0
15	本校のＰＴＡ総会、授業公開日など保護者対象の行事は、有意義なものになっていますか。	2.7
16	大田高ホームページ・「泰山木」を通して、学校の様子は伝わっていますか。	3.0
17	本校は、生徒の安全確保（避難訓練、防災教育、緊急連絡メールなど）を適切に行っていますか。	3.1
18	本校が通知したお子様の定期健康診断結果等の情報は役立っていますか。	3.3
19	本校では、お子様の心身両面の健康状態についての把握や支援について、適切に行っています	3.0
20	お子様は、人権学習や講演会を通じて、人権意識を高めることができていますか。	3.0
21	本校は相談しやすい学校ですか。	2.9
22	本校は生徒理解に努めていますか。	3.0
23	総合的に見て、お子様を本校に入学させて良かったですか。	3.4

生徒によるアンケート（全学年:344名回答）
４：とてもそう思う　３：だいたいそう思う　２：あまりそう思わない
１：全くそう思わない　０：わからない

	評　価　項　目	平均
1	本校のグランドデザインがどのようなものかを知っていますか。	2.8
2	地域に係る活動（探究学習など）を通じて地域への理解や愛着が深まりましたか。	3.0
3	本校は、ＩＴ講演会等を通じて、生徒の、ＩＴへの理解や興味を深めていますか。	2.9
4	協調学習（ジグソー法やペアワーク、グループワークなど）を通じて深い学びをすることができましたか。	3.3
5	本校は、教室内にあるＩＣＴ機器（プロジェクター、タブレットなど）が活用されていま	3.6
6	本校は、自分から「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちに応えています	3.2
7	宿題・課題等に取り組むことが、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっています	3.3
8	本校の図書館は利用しやすいですか。	3.3
9	本校の図書の蔵書構成（自分が読みたくなるような本、調べ学習に役立つ本等）は充実していますか。	3.3
10	「図書館だより」などの広報誌の配布、出張図書館や展示は、読書への興味関心につながってい	3.1
11	本校はいじめをしない、させない、許さないための、適切な取り組みや対応が行われています	3.1
12	服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	3.3
13	本校の部活動において、現在の活動内容に満足していますか。	3.3
14	本校は、学園祭の計画・運営など生徒会の活動が盛んになるように支援していますか。	3.3
15	本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	3.1
16	進路講演会や学年集会等を通して得た進路に関する情報は役に立っていますか。	3.4
17	キャリア教育（進路学習）を通して、自分の将来について考えることができましたか。	3.4
18	各種の補習（土曜日・平日・夏期・冬期）は、学力向上に効果がありますか。	3.1
19	大田高ホームページ・「泰山木」を通して、学校の様子は伝わっていますか。	2.8
20	本校は、生徒の安全確保（避難訓練、防災教育、緊急連絡メールなど）を適切に行っていますか。	3.4
21	本校ではあなたの健康管理や維持について適切に対応していますか。	3.3
22	本校では、悩み事等があれば、速やかに対応してくれていますか。	3.3
23	本校では、毎日の清掃をきちんと行っていますか。	3.6
24	本校は、合理的配慮やユニバーサルデザインを意識した教育が行われていますか。	3.2
25	人権学習や講演会を通じて、人権意識を高めることができましたか。	3.4
26	本校は相談しやすい学校ですか。	3.1
27	学校生活を通して自分のことを理解してもらっていますか。	3.2
28	総合的に見て、本校に入学して良かったですか。	3.2

体育祭

編集後記

昨年度まではＰＴＡ総務委員会がＰＴＡ広報として発行してきましたが、本年度は「学校だより」として総務部が発行します。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

（総務部　佐々木義彦）

学園祭